

昭和30年代・濃尾平野と周辺の中世城館

服部, 英雄
九州大学大学院比較社会文化研究院 : 教授 : 日本史

<https://doi.org/10.15017/17119>

出版情報 : 比較社会文化. 16, pp.121-264, 2010-03-20. Graduate School of Social and Cultural Studies, Kyushu University
バージョン :
権利関係 :



写真番号（89）川手城址（岐阜市下川手）



写真番号 (90) 加納城址 (岐阜市西加納町)



Ⓐ 本丸 西北隅



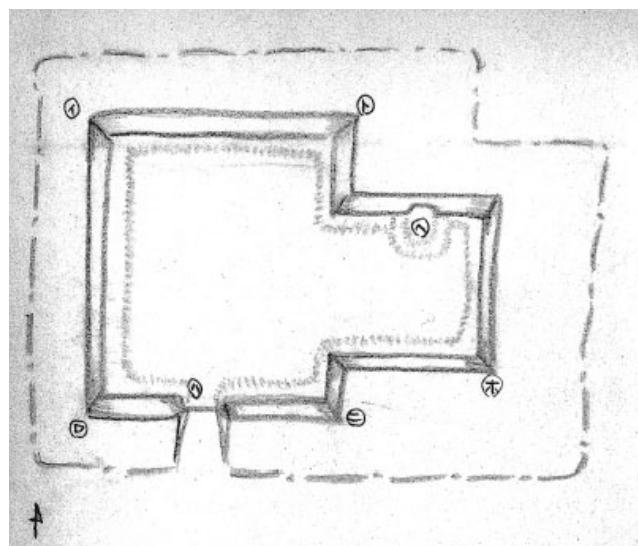
ⒷよりⒶ方面



Ⓑ 本丸 北東隅



Ⓐ 本丸西北隅より 金華山、稻葉山城を遠望





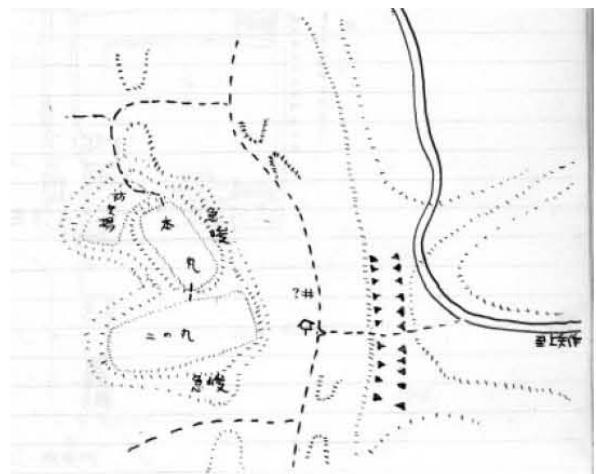
Ⓐより Ⓛ 中学二年、三月に写す



ⓑ 高校二年 秋に写す
自衛隊駐屯基地であった。

写真番号 (91) 明知城址 (恵那郡明智町字城山)



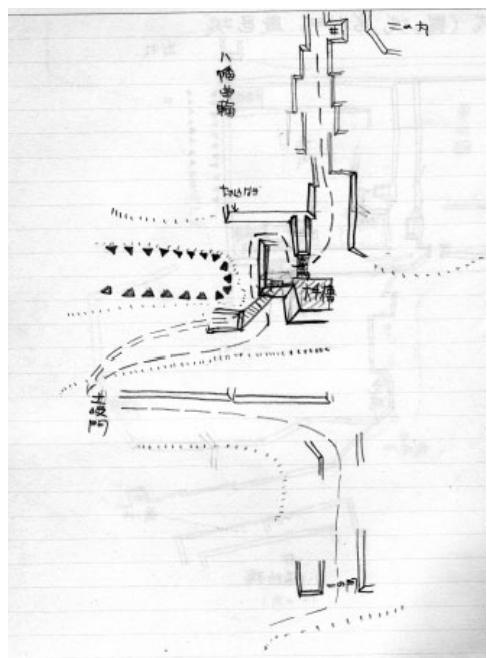
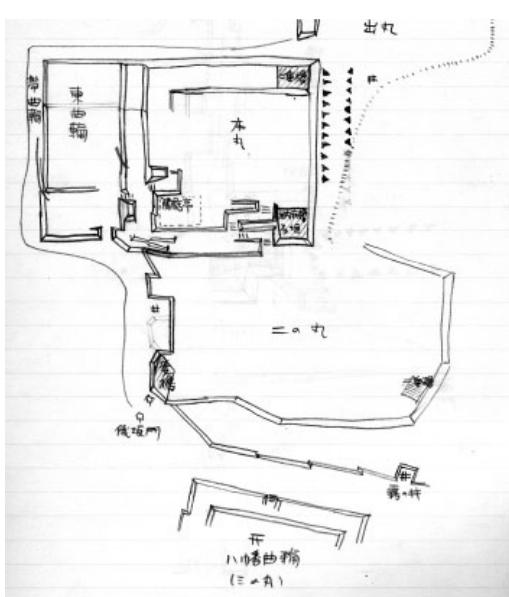


写真番号 (92) 岩村城址 (恵那郡岩村町字城山)





左手 惠那山



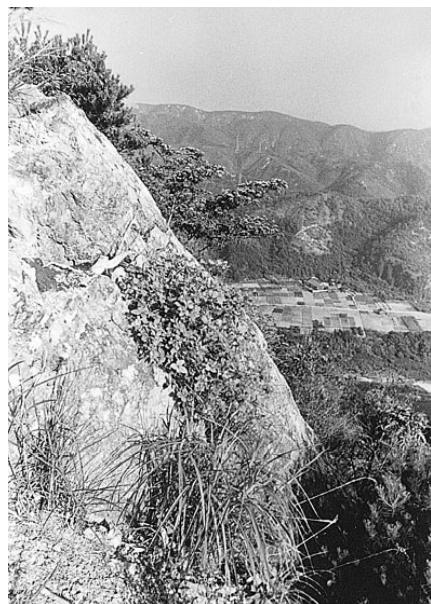
写真番号 (93) 猿啄城址 (加茂郡坂祝町勝山)



左上、本丸



頂上



本丸より 木曽川下流、濃尾平野



中腹 曲輪より 勝山の町



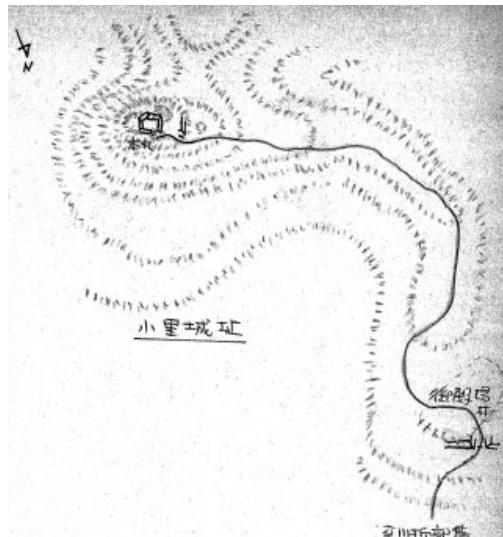
勝山より 東面



写真番号（94）小里城址（瑞浪市稻津町小里字城山）



山頂本丸を眺む。右手水車は陶土粉碎用
左手樹木の奥に御殿場がある



御殿場への石塁



左の写真の右の石塁



井戸跡（御殿場）



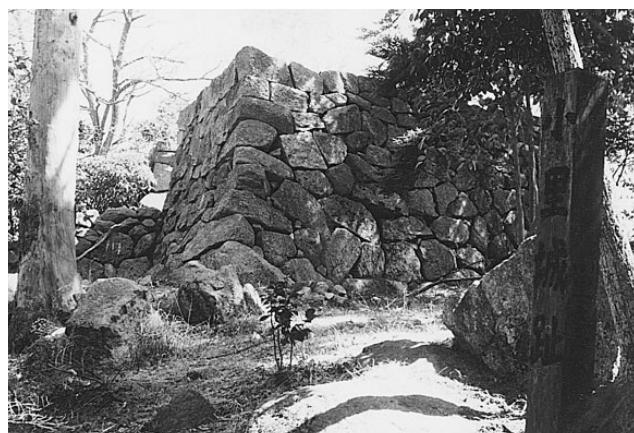
本丸下 出丸より、春 山腹の石塁が見える



左山頂（本丸）を御殿場より



本丸へ



やっと本丸へ



本丸 樹形 入口



↑ 後方：本丸 構形
(天主台か)
東

↑ 石壠：鍵状になって残る
(櫓台又は門か)



積み上げられていない石が異常に多い。人物は大磯ユタカ氏（名古屋大学医学部教授）



本丸 構形 入口



本城 構形 南面 不等辺五角形であることがわかる。
周辺には崩落石がおびただしかった。修理によって積
み直されたらしい。



新しい印象を受ける石積



山頂より岩村方面、上流を望む

